

とちぎ市議会だより

第27号
2016.5.20

希望を 胸に



P17に写真の説明

特集

28年度予算案を可決

予算審査 2

皆さまの想いを市政へ

政策提言 4

3月定例会で

決まったこと	5
一般質問	5
常任委員会	13
討 論	15
議案等審議結果	16
活動・お知らせ	17
主なうごき	18

644億4000万円

特別会計は増

予算 審査

歳出額（千円）

	平成28年度	平成27年度	増減率
一般会計	64,440,000	65,620,000	△1.8%
特別会計			
国民健康保険	22,190,181	19,758,170	12.3%
後期高齢者医療	1,709,610	1,693,600	0.9%
介護保険（介護保険勘定）	14,050,124	13,518,100	3.9%
介護保険（介護サービス事業勘定）	59,723	46,800	27.6%
下水道	5,185,630	5,167,162	0.4%
農業集落排水	382,037	365,726	4.5%
医療福祉モール	-	1,103	皆 減
千塚町上川原産業団地	703,299	556,814	26.3%
小 計	44,280,604	41,107,475	7.7%
合 計	108,720,604	106,727,475	1.9%

拡 充

定住促進支援事業費

7,833万8千円

多世代家族住宅新築等補助金の創設、宿泊体験施設の整備等をします。



移住お試しの家

拡 充

消防用機械機器購入費

5,221万円

消防団と消防本部の意思疎通、情報共有を図るため携帯型簡易無線機を配備します。



新 規

防災ラジオ普及事業費

1,132万8千円

電源がオフでもFMくらの緊急放送を自動で受信するラジオを配付します。



新 規

吾一からくり時計設置 事業費 2,000万円

寄附金を活用して「路傍の石」吾一少年のからくり時計を設置します。



栃木駅前の山本有三記念碑

新 規

部屋南部地区 かんがい排水事業費 1,542万円

石川排水機場の更新整備と既存排水路の改修整備をします。



新 規

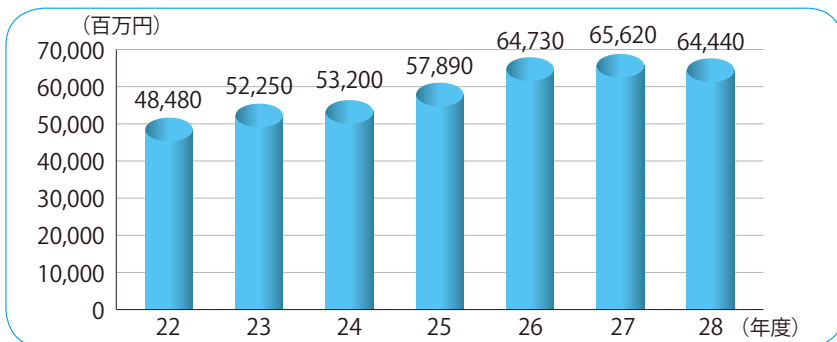
地域予算提案事業費

2,346万7千円

地域の意見を市の予算に反映させることで効率的に地域課題を解決します。



28年度当初予算額は 一般会計は合併後初の減、



平成22年3月に1市3町の合併で新市が発足して以来、23年10月に西方町、26年4月に岩舟町との合併を経ながら、予算額は毎年増加してきましたが、小中学校校舎等整備事業費の減少などにより、当初予算額が今回初めて減額となりました。



みんなから預かった大切な税金、
28年度は
どんなことにつかうの？

新規

渡良瀬遊水地安全対策 事業費 631万6千円

遊水地内の主要道路等に看板を設置して現在地をわかりやすくします。



継続

公共下水道雨水渠整備 事業費 6,500万円

昨年の豪雨で大きな被害を受けた片柳市営住宅跡地に樋門や調整池等を作ります。



新規

(仮称) 地域交流 センター等事業費 2,376万3千円

市民活動支援施設として、旧栃木中央小学校既存校舎を活用して整備します。



新規

医療用ウィッグ購入費 補助費 150万円

がん治療に伴う外見の悩みを軽減するために、かつら購入費用の一部を補助します。



継続

東陽中学校敷地拡張整備 事業費 6,900万円

学校規模に対して運動場が狭いため、運動場の拡張と施設の整備をします。



新規

(仮称) 文化芸術館整備 事業費 5,792万4千円

旧栃本市役所本庁舎跡地に(仮称)文化芸術館と(仮称)文学館を整備します。



皆さまの想いを市政へ

政策 提言

議会報告会（フリートーク）



昨年の10月～11月にかけて市内19カ所で実施した議会報告会において、市民の皆さまからいただいた貴重なご意見をもとに「提言書」を作成し、市長に提出しました。

13の提言

- 1 人口減少時代に対応した地域の活性化について
- 2 魅力溢れる渡良瀬遊水地の積極的な利活用について
- 3 関東・東北豪雨を教訓にした防災対策の充実について
- 4 安全・安心なまちづくりにむけた取り組みを
- 5 蔵タク・ふれあいバスの利便性向上について
- 6 学童保育などの充実による子育て支援について
- 7 地域医療の拠点であるメディカルセンターへの更なる支援を
- 8 利用しやすい制度による効果的な有害鳥獣対策を
- 9 既存資源の有効活用により、観光客の増加と産業の発展を
- 10 通行者の安全性に配慮した計画的な道路整備について
- 11 自然災害などに対応した適切な河川整備及び排水対策について
- 12 学校教育環境の充実を
- 13 市民の生活を守る消防団の強化について

市政へ



皆さまの想いをのせた「13の提言」が実現し、栃木市がもっと住みよい街になるように、議会としても継続して見守っていきます。

【お知らせ】

「議会報告会結果報告書」と「提言書」は、議会報告会を開催した各会場のほか、議会ホームページでもご覧いただけます。

3月定例会で決まったこと(主な議案)

3月定例会で可決した議案のうち主なものについてお知らせします。

地域の支え合い活動を推進するために、県内初の条例を制定

(議案第21号)

地域支え合い活動推進条例の制定

地域における支え合い活動に関し、市、市民、自治会等の役割を明らかにしました。また、支援を必要とする高齢者や障がい者等の情報提供に関して新たなルールを決めました。

それぞれが役割を果たし、災害時だけでなく、平常時から日常的に見守りや支援を行うことにより、支援を必要とする方が住み慣れた地域において、社会から孤立することなく安心して暮らすことのできる地域社会を目指します。

市民の役割って
なんだろう？



市民は自ら、支え合い活動を主体的に行うように努めることや、

地域の支え合い活動に協力するよう努めることが役割とされています。

▼13頁「民生常任委員会」

**教育委員会委員の任命について
同意をしました**

(議案第51号)

教育委員会委員の任命
西脇はるみ氏(新任)

**固定資産評価審査委員会委員の
選任について同意をしました**

(議案第52号～55号)

固定資産評価審査委員会委員の選任
諏訪 晃氏(再任)

石崎 政男氏(新任)

高際 一夫氏(新任)

柏倉 喜三久氏(再任)

**人権擁護委員の推薦について
同意をしました**

(議案第56号～58号)

人権擁護委員の候補者の推薦

大橋 光男氏(再任)

小林 純子氏(再任)

癸生川 壯氏(新任)

市 政 に 対 す る 一 般 質 問

渡良瀬遊水地を守る取り組みは

ハートランドプラン(※1)を推進するための今後の取り組みについて、また、子どもたちが遊水地の歴史を学び継承していくための取り組みについて伺う。

答弁 早乙女総合政策部長

渡良瀬ナイツクラブの発足や 副読本の活用等に取り組んで行く

28年度は「ハートランドホームページ」の作成、史跡保全ゾーンの案内看板整備、遊水地内の位置表示看板設置などを予定している。

また、渡良瀬ナイツ(※2)は、渡良瀬遊水地ガイドクラブとして既に2000人を超える来訪者の方々を案内してきたが、4月から、この体制をパワーアップした「渡良瀬ナイツクラブ」を発足し、新たな守り人を募集するほか、会員を支え、また会員へのサービスを提供していただく企業・団体を



古沢ちい子 議員
公明党議員会

●栃木市の宝、渡良瀬遊水地を守る取り組みについて
○女性の活躍により目指すべき社会について

サポーター店として登録する。

子どもたちに対しては、栃木女子高の生徒と共に制作した、遊水地を紹介する絵本「ハートランドのかくれんぼ」を保育園や幼稚園、小学校などに配付したほか、地元の方々による読み聞かせを行っている。28年度には、渡良瀬遊水地に関する副読本として「渡良瀬遊水地わくわく探検ブック」を4年生・6年生に配付し、5年生の社会科授業で活用する。

ハートランドの
仲間たち



(※1) ハートランドプラン
渡良瀬遊水地内の栃木市区域の保全と利活用を図る基本計画。
(※2) 渡良瀬ナイツ
ハートランドプランでは、渡良瀬遊水地を守り、未来に引き継ぐ役割を持った方々を「守り人」と位置付け、「渡良瀬ナイツ」と呼んでいる。



永田 武志 議員
黎明

道路のパトロール、補修工事に 十分な予算と人員を

住宅街を通る生活道路の中には、通過車両の増加や部分補修の繰り返しによる痛みの激しい箇所が大変多く見受けられる。

徹底した道路パトロールや、道路補修の工事に予算と人員を更に投じるべきと考えるが、執行部の見解は。

答弁 鈴木建設水道部長 予算の確保と人員増により 早期補修に努める

現在、栃木地域においては、道路パトロール監視員として1名の臨時職員を採用して、損傷箇所の早期発見に努めている。また、平成26年12月には、栃木郵便局と「道路損傷等による危険箇所の情報提供の協力に関する協定」を締結し、道路損傷等の情報を提供していた



舗装崩れの危険箇所

○16万都市、栃木市の教育環境は健全か
●道路行政について

だけるようにしている。

しかし、応急補修工事の繰り返しによる箇所が多く、抜本的な解消に至っていないことから、引き続き、補修工事に必要な予算の確保に努めるとともに、新年度からは道路パトロール監視員を増員して、道路の危険箇所や損傷箇所の早期発見に努めていきたい。

さらに、広報紙やホームページ等により市民の皆様からも危険箇所の通報を頂けるよう周知し、早期の補修対応ができるよう努めていく。

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



海老原恵子 議員
大樹

今後の財政状況の見通しは

今後、様々な事業が控える中、財政状況への不安を払しょくするためには、市の財政状況を市民の皆さまに十分理解してもらうことが大切であり、行政の責任でもある。本市の財政状況について伺う。

答弁 鈴木市長 一時悪化するも 平成32年頃から安定させる

財政状況を表す代表的な指標の一つである経常収支比率（※）については、平成26年度一般会計決算において94・0％となり、前年度から4・9ポイント増加した。その主な要因は、合併により岩舟町や栃木地区広域行政事務組合等の借入金を引き継いだことによる。

しかし、各財政指標は、国が定めた早期健全化基準を大幅に下回っており、本市の財政状況は、

●栃木市の平成28年度予算について
○市長等政治倫理規範の制定について
○放課後児童指導員について

総じて健全な範囲内にあると認識している。

今後、地方都市リノベーション事業などの大規模事業が控えているが、これらは、市内中心部の発展のために、或いは、国から補助を受けられる期間や合併特例債を利用できる期間等の制約があることから、今やなくてはならない事業と考えている。

これらの事業を進めることに伴い、地方債の借入増によって財政指標が一時的に悪化することが予測されるが、財政自立計画に基づく各種取組を着実に実行し、また大規模事業が終了した後は地方債の縮減を図っていくこと等により、市制10周年を迎えるあたりからは、安定した財政運営ができることを目標としている。

※経常収支比率

地方税などの経常的な一般財源のうち、人件費、公債費などの経常的経費に充当されたものが占める割合を表す。この数値が高いと、財政構造の弾力性が失われることになる。

災害発生前に迅速な情報伝達を

大川 秀子 議員
黎明

昨年発生した豪雨被害は、私たちに多くの教訓を残した。これらを検証し、今後の対策に生かさないといけない。

災害が予測されることや、災害対策本部が設置されたことなど、いち早く市民に知らせることで個々の対応が出来るのではないかと、情報収集や情報伝達を今後どのように行っていくのか。

答弁 村上危機管理監

市民への情報提供を強化していく

市では、気象庁が発表する気象情報を、テレビやインターネット、県、宇都宮地方気象台から収集しており、それらの情報から災害の種類や状況、災害発生場所を予測している。

これらの気象情報や予測される災害等は、FMくらら857、ケー

- 28年度的一般会計予算編成と施政方針について
- 災害時などの情報伝達方法と今後の対策について
- 公共施設の安全管理について

ブルテレビのL字放送、CC9メールの栃木市緊急情報、同報系防災行政無線、栃木市ホームページ、フェイスブック、ツイッター、防災情報ステーションなどを活用し、市民の皆様にお伝えしている。

また、災害対策本部を設置したことについても、市民の皆様へ情報提供することで災害に対する注意喚起となることから、先に述べた方法による周知に加えて、広報車による広報、更にシアラートシステムにより報道機関等にも情報提供し、テレビ、ラジオ、インターネット等を通じて市民に周知していきたい。



FM くらら 857 コエドスタジオ

市 政 に 対 す る 一 般 質 問

市民の期待に応えるメディカルセンターとなるため市から指導・助言を

針谷 育造 議員
栃木新風会

下都賀総合病院、とちの木病院、医師会病院が統合した、とちぎメディカルセンターの継続的な発展と健全経営は市民の願いである。

同センターには、市の補助金33億円をはじめ、総額87億円の税金が投入されており、市にはそれらを適正に執行させる責任がある。市からの指導、助言について伺う。

答弁 奈良部保健福祉部長

経営の安定化につながるよう適正な指導・助言をしていきたい

とちぎメディカルセンターに対し、良質な地域医療を確保することを基本として、特に市民の生命に直接関わる二次救急医療の確保を図ることを最重要課題として、施設整備を指導してきた。また、脳血管疾患や急性心筋梗塞、がん

- とちぎメディカルセンターについて
- 都市計画について

の診療などについては、過度に三次医療機関である大学病院に依存せず、新病院において対応できる診療体制の構築についても指導してきた。

今後も引き続き、収支状況や経営状況等を確認しながら、随時、指導していくとともに、毎月定例的に行っている正副市長と理事長との懇談の場や評議員会等において、適正な指導や助言をしていく。



とちぎメディカルセンターしもつが



針谷 正夫 議員
黎明

栃木市版小規模企業振興条例の制定を

小規模企業の繁栄なくして地域の活性化はないと考えるが、小規模事業者は人口減少・少子高齢化等の厳しい経営環境にある。

国は小規模企業振興基本法を、県は「栃木県中小企業・小規模企業の振興に関する条例」をそれぞれ制定し小規模事業者の躍進を掲げている。

市も小規模企業の支援体制の充実のために、栃木市版「小規模企業振興条例」を制定すべきではないか。

【答弁】 茅原産業振興部長

条例制定に向けて検討に着手した

本市の小規模事業者は中小企業の約 8 割を占めている。地域の雇用を支え、新たな需要にきめ細か



小規模企業の振興が期待される

○東京都中央区との友好交流関係の強化を
●小規模企業振興条例の制定につ
く

く対応できる小規模事業者の役割は特に重要であると認識している。

市は、小規模企業を含めた中小企業の振興に関する条例の制定に向けて検討を進めており、全体スケジュールや検討組織のあり方などの検討に着手したところである。

また、条例策定にあたっては、法律上、「中小企業者」に「小規模企業者」は含まれているが、「小規模企業」の重要性や抱える課題等を鑑みて、その振興を図ることを明確に規定したいと考えている。

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



大武 真一 議員
無会派

駐車場不足解消のため旧栃木警察署跡地の活用を

昨年 9 月に市内中心市街地の 9 つの「商店会」が売却反対の陳情書を、本年 2 月に「中心市街地を考える会」が 5000 人を超す署名を添えて、このまま進めず一度立ち止まって市民と考えるべきとの要望書をそれぞれ提出した。

中心市街地に不足する駐車場を併設した観光物産館、情報発信のコア施設等の設置が望ましいと考えているが、執行部の考えを伺う。

【答弁】 渡邊都市整備部長

駐車場の課題は中心市街地全体で対応する

旧栃木警察署跡地については、中心市街地活性化の実現化方策の一つとして、民間活力を活用した土地利用を図ることとしている。

現在、民間事業者の募集を締め切

●旧栃木警察署跡地の民間売却等について
○新病院とちぎメディカルセンターの開院、経営について
○家庭ゴミ収集業務委託業者の入札について

り、3 月中に優先交渉権者を選定する予定であり、中心市街地の活性化に寄与する優れた事業を確実に実施していきたいと考えている。

市中心部における駐車場不足については、旧栃木警察署跡地近くの室町駐車場の再整備や蔵の街第一駐車場の改良等により、観光バス等が最大 10 台程度駐車できるような整備を進めるとともに、今後整備を予定している（仮称）文化芸術館や（仮称）地域交流センターの駐車場、及び市役所立体駐車場の利用

により、中心市街地全体で対応していきたいと考えている。



中心市街地の旧栃木警察署跡地

組織機構改編後の 各地域における防災体制は



中島 克訓 議員
新生クラブ

組織機構の見直しにより、総合支所は3課体制となり人員も減る。総合支所は9月の関東・東北豪雨において地域防災の拠点として災害対応等に重要な役割を果たした。

具体的には、災害対策本部の全ての班に各地域の担当係を設け、災害時には、担当する地域の総合支所に駆けつけて業務に当たるような体制を整えたい。特に、係の編成に当たっては、各総合支所勤務経験のある者や、近隣地域に住む職員を充てるよう工夫する。

各地域の災害対応能力が低下することのないよう、万全を期したい。

これまで通り、各総合支所が 地域防災の中心を担っていく

答弁 鈴木市長

各総合支所は各地域の消防や地元消防団と連携し、まさに地域防災の要となる役割を担っている。この位置付けは、新体制となっても変わらない。

問題は、総合支所に勤務する職員の人数が減ることや道路・河川等を管理する担当組織がなくなる



豪雨により川岸が崩れた逆川（都賀地域）

●災害に強いまちづくり
○児童虐待に対する本市の取り組みについて

市 政 に 対 す る 一 般 質 問

公園等に 防犯カメラを設置する考えは



坂東 一敏 議員
誠心

防犯カメラは、市民の安心安全を守るために設置するものである。特に子どもや高齢者が安心してくつろぐ場所である公園には設置の必要があると思われる。

今後の公園や通学路への防犯カメラの設置方針について伺う。

答弁 高橋生活環境部長

4月から

第二公園に試行的に設置する

防犯カメラの設置方針としては、個人情報保護審査会を経たのち、「栃木市防犯カメラシステムの設置及び運用に関する要綱」等に基づき、個人情報の管理の徹底を図るとともに、防犯上の必要性が高い順に設置したいと考えている。

まずは、より多くの人々が往来する鉄道の駅に優先して設置して

○市道の整備について
●安心安全の街づくり、防犯カメラの設置について



第二公園に設置された防犯カメラ

今後における、公園等の公共施設や通学路等の公共空間を含む市全体における防犯カメラの設置については、市の施設所管課、警察及び自治会等の関係機関と十分協議するとともに、引き続き県内外の先進事例を調査し、具体的な設置方針の作成に向け検討していきたい。

なお、本年度中に旭町地内の第二公園に試行的に設置し、4月から運用する予定である。



福富 善明 議員
大樹

渡良瀬遊水地利用のため 周辺自治体と連携を

3300ヘクタールという広大な遊水地を生かすために「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が設立され、現在、鈴木市長が会長を務めている。

より効果的な利活用を目指して、関係自治体に働き掛けてはどうか。

答弁 鈴木市長

関係する市町や団体等との連携を更に深めていきたい

平成24年7月にラムサール条約登録湿地となった後、遊水地の魅力を最大限に引き出し、更なる利活用を図るために、本市からの発案により「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が設立された。当協議会では、国や周辺市町、自治会や自然保護などの各種団体が構成員となり、渡良瀬遊水地に関する



更なる利活用が望まれる渡良瀬遊水地

ことについて、情報を共有し、保全・利活用について協議を行っている。今後は、当協議会を活性化し、国県、周辺市町、各種団体、地域との連携を強化しつつ、今後の遊水地の有り方、将来のあるべき姿を示す青写真づくりなどについても連携を深めていきたい。

さらに、本市と埼玉県加須市、群馬県板倉町との境界点の測量調査が行われ、全国的にも珍しい「平地の3県境」の境界点が確定したので、これを機に関係市町や県との連携を深め、PRにつなげていきたい。

○道路行政について
●渡良瀬遊水地の利活用について

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



白石 幹男 議員
無会派

結婚歴のない (非婚の)ひとり親に 寡婦(夫)控除のみなし適用を

所得税法の寡婦(夫)控除(※)は、死別や離別によるひとり親を対象としているが、結婚歴のない親は対象となっていない。

控除がなければ納税額が増え、保育料なども重くなる。結婚歴の有無で格差が生まれるのは不合理だとの声も上がっている。

非婚のひとり親に対し、寡婦(夫)控除をみなし適用すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 白井保健福祉部副部長

**有効な支援策となるよう
早期実施にむけて調整中である**

寡婦(夫)控除のみなし適用を行うことにより、そのような状況を改善することができ、ひとり親世帯への有効な支援策となること

○関東・東北豪雨の対応について
○市政運営について
●子育て支援について
○旧寺尾南小学校の利活用について

から、できるだけ早く実施できるよう、現在、実施方法や実施時期について検討している。

保育園保育料は平成28年9月分から、幼稚園就園奨励費補助金は平成28年度分から、学童保育料は平成28年度から実施する方向で調整中である。

なお、該当する方については、特にプライバシーに配慮することが求められるため、本人の申出により把握したいと考えている。

また、寡婦(夫)控除のみなし適用が可能と思われる、その他の事業においても、順次適用するよう準備を進めている。

※寡婦(夫)控除

所得から27万円を差し引くことにより所得税額を軽減する制度

「特定の寡婦」に該当する場合は、さらに8万円が控除される。

地方都市リノベーション事業等の進捗状況は



梅沢 米満 議員
栃木新風会

旧栃木市役所跡地や旧栃木警察署跡地などにおいて持続可能な市街地構造の再構築を図るため、地方都市リノベーション事業等の導入が予定されている。地域に必要な市街地機能の整備等を進めていくことになるが、各計画の進捗状況や事業費等について伺う。

【答弁】 渡邊都市整備部長

「都市再生整備計画」を正式に国土交通大臣へ提出

地方都市リノベーション事業については、「都市再生整備計画」を2月16日付で正式に国土交通大臣あてに計画書を提出した。全体の事業期間は平成28年度から32年度までの5年間で予定している。

旧栃木市役所跡地に計画している（仮称）文化芸術館、旧市役所



（仮称）文学館の整備が予定されている旧市役所別館

- 市有財産等の有効利用について
- 渡良瀬遊水地について
- 市有バスの利用について

別館を活用して整備を進める（仮称）文学館、旧栃木中央小学校跡地に整備を進める（仮称）統合保育園、小学校の旧校舎を活用して整備を進める（仮称）地域交流センター、その他周辺市道の整備事業も併せて、交付対象となる全体事業費は、約56億円を見込んでおり、そのうち、交付金として約20億円の財源を見込んでいる。

旧栃木警察署跡地については、昨年の12月17日に民間事業者の募集を開始し、3月末までには、事業を実施する優先交渉権者を決定する予定である。

市 政 に 対 す る 一 般 質 問

豪雨災害時における市の対応の反省と今後の対応は



松本 喜一 議員
無会派

昨年9月の豪雨災害において、本市は3千件を超える床下・床上浸水等、多くの災害に見舞われた。災害対応の反省すべき点、この経験を生かした今後の対応について伺う。

【答弁】 鈴木市長

反省点を踏まえ、災害時に十分対応できる体制を整える

9月の豪雨災害における市の対応には、幾つかの問題があったと考えている。

主なものは、情報の収集・伝達、備蓄品の種類や備蓄倉庫の設置場所、災害時における組織体制などである。

今後は、情報の収集・伝達については、地域の状況に一番詳しく、情報を持っている自治会等に、自

- 関東・東北豪雨の検証について
- とちぎメディカルセンターについて

主防災組織等を設立していただき、共助の体制を構築していただいたり、地域の情報を市にも知らせていただくためのホットラインを設置したり、自治会内で情報伝達等をしていただけるようお願いしていきたい。

また、職員の災害対応能力の向上、避難所に隣接した備蓄倉庫の設置、備蓄品の補充をしていきたい。災害警戒本部及び災害対策本部の設置時期の見直しも含め、災害時に十分に対応できるよう、私を含めた職員体制について見直していきたいと考えている。



豪雨により冠水した本庁舎周辺

来年度以降の事業計画は



平池 紘士 議員
黎明

新斎場整備計画については、早急に取り組まなければならない事業ではあるが、非常に繊細な問題である。

建設予定地は決定したが、基本構想策定時のスケジュールからは、やや遅れている状況である。来年度には様々な業務を実施していくことと思うが、今後の進め方とスケジュールについて伺う。

【答弁】 高橋生活環境部長

目標スケジュールを見直し
できるだけ早く公表したい

本年度予定していた各種調査等業務を、平成 28 年度に実施することとした。具体的には、測量・地質調査業務、環境影響調査業務、PFI 導入可能性調査等を順次実施していきたいと考えている。

また、並行して地元の皆様の要

● 栃木市斎場再整備について

望をお聞きしながら、周辺整備事業について検討していきたい。

新斎場の使用開始までの全体スケジュールについては、現在、決定した建設予定地において、必要な許可手続について、調査研究を行っている。

市民の皆様の中には早期完成を願う方々もいることから、基本構想時の目標スケジュールの内容と日程を見直していく。できるだけ早く、実情に即したスケジュールや工程表を公表したいと考えている。



建設予定地の南部清掃工場跡

市 政 に 対 す る 一 般 質 問

日本一きれいな街にするために
「路上喫煙禁止条例」の制定を



広瀬 義明 議員
大樹

市内各地においてポイ捨てされたゴミが目につくのが現状である。環境美化の観点から、さらに善意で美化活動をされる方々の労苦に報いるためにも、捨てる側の意識改革が求められる。

ポイ捨てされるゴミの中でも、たばこの吸い殻対策として他の自治体でも条例化が進んでいる。本市でも「路上喫煙禁止条例」を制定し、ポイ捨て対策の一助とすべきと考え、執行部の見解をお伺いする。

【答弁】 高橋生活環境部長

様々な課題について検討し、制定に
むけて関係機関と協議していく

吸い殻の散乱防止に関し、市、市民、事業者の責務を明らかにし、路上における喫煙マナーや環

○ 常備消防の改善について
● ポイ捨て対策について

境美化意識の向上を図り、安全で快適な歩行空間と清潔な地域環境を確保する必要がある。

しかし条例制定にはいくつかの課題があると考えている。まず、禁止するものは喫煙そのものか、いわゆる歩きタバコのみか。禁止区域は栃木駅前広場に限定するか、伝建地区などの観光スポットまで拡大が必要か。ルールを守らない人へは指導にとどめるか、罰則を設けるかなどの検討が必要となる。

このようなことから、栃木警察署などの関係機関と協議を重ね、制定に向けて取り組んでいきたい。



美化キャンペーンの様子

常任委員会の審査内容

総務常任委員会

議案第1号

平成28年度一般会計予算

(渡良瀬遊水地安全対策事業費)

質 位置表示看板の設置場所は

答 遊水地内の管理用道路の結節点に設置を検討している。また、史跡保存ゾーンの案内看板も老朽化しているので、更新していきたい。

(吾一からくり時計設置事業費)

質 からくり時計の設置場所は

答 設置に当たっては寄附をいただく予定であり、寄附者は栃木駅周辺を想定している。市もそのような方向で検討している。

質 からくり時計の規模は

答 寄附金が1000万円、市の持ち出しが1000万円の合計2000万円の事業費の範囲で設置していきたい。

(消防団運営費)

質 消防団員確保のための取り組みは

答 県の補助を活用し、消防団員サポート事業を実施する。内容としては、市内の商店などに協力いただき、消防団員を対象とした特典サービスの提供などを検討している。



大通りで行われた消防団の分列行進の様子

(歳入 地方交付税)

質 対前年度比で約2億円減額となった理由は

答 1市3町の合併から5年が経過し、平成27年度から交付税の段階的な縮減が始まったため等である。

質 今後の交付税の推移は

答 旧1市3町分としては平成31年度まで、旧西方町分としては平成33年度まで、旧岩舟町分としては平成36年度まで、それぞれ5年間かけて段階的に交付税が縮減されることになる。平成37年度分から通常の交付税算定になる。

民生常任委員会

議案第1号

平成28年度一般会計予算

(特定教育・保育施設等施設型給付費)

質 認定こども園の整備状況は

答 今年度の5園から14園になり、定員が450人程度増える。

質 待機児童の問題は解決するのか

答 定員は増えるが、幼稚園から認定こども園に移行する園児もいるため、待機児童は若干発生すると見込んでいる。

議案第4号

平成28年度介護保険特別会計

保険事業勘定予算

(家族介護継続支援事業費)

質 紙おむつの利用に対する支援の方法を、現金支給から現物給付に変更する理由は

答 本事業利用者のニーズに応えるために、現物給付に変更することとした。

質 現物給付になっても種類を選べるのか

答 すべてのメーカーを取り扱う業者がカタログを作り、そこから利用者が選べるようにしたい。

議案第10号

一般会計補正予算(第6号)

(個人番号カード交付事業費)

質 通知カードの送付状況は

答 11月までに各家庭に送付し、市に返戻が4963件あった。そのうち3362件については窓口交付または再送し、さらに死亡等により54件を廃棄した。現在は1547件を市で保管している。

▼15頁II討論



マイナンバーカード

議案第21号

地域支え合い活動推進条例の制定

質 支援を必要とする者に係る情報の取り扱いに関して、情報の提供を受ける団体との協定はどの時点で締結するのか

答 情報の提供を受ける自治会等が、見守りなどの支えあい活動を行う準備が整った段階で、随時協定を締結していきたいと考えている。

産業教育常任委員会

議案第1号

平成28年度一般会計予算

(小野寺北小旧校舎保存解体事業費)

質 今後のスケジュールは

答 6月ごろから調査に入り、9月から12月の間に解体工事を予定している。なお、現在の小野寺北小学校校舎に、保存記録書や模型、写真等を展示したいと考えている。

▼15頁＝討論



小野寺北小学校旧校舎

(学力向上事業費)

質 学習ボランティアの人数は

答 27年度は38名であったが、28年度は小学校30校すべてで実施し、60名程度を見込んでいます。

質 学力向上のための今後の取り組みは

答 指導主事の学校訪問による教員の指導力向上、教育研究所による研究活動、放課後教室による学習支援の三本柱で進めていきたい。

議案第22号

いじめ防止対策推進条例の制定

質 条例の特徴は

答 他市の条例にはない、本条例の特徴は、対象範囲を小中学校に限らず高等学校にまで広げたことと、市内学校に在籍する児童生徒のほか、市内から市外の学校に通う小中高生まで範囲を広げたことである。

質 いじめの調査方法は

答 教職員を対象として2カ月に1回実施している認知件数調査、児童生徒を対象として年1回実施している無記名式のアンケート調査の2種類の調査を実施している。

議案第23号

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定

質 農業委員の選出方法を、選挙制から市長の任命制に変更する理由は

答 農業委員の選出方法の変更は、農業委員会法改正によるものであり、

法改正の背景としては、農業の担い手の減少や耕作放棄地の増加がある。

質 農業委員の内訳は

答 定数25人のうち、半数以上は認定農業者でなければならないとされている。また、本市では、利害関係のない第三者と公募委員を合わせて3名前後、それ以外は地域推薦を中心とする推薦委員と考えている。

▼15頁＝討論

建設常任委員会

議案第1号

平成28年度一般会計予算

(市営住宅共通管理費)

質 市営住宅の駐車場における車のタイヤ盗難やガラスの破損等への対応は

答 今後、防犯カメラの設置を検討していきたい。

(定住促進支援事業費)

質 宿泊体験施設の概要は

答 栃木地域の大通りにある空き家と巴波川沿いにある空き施設のいずれかを候補地とする。大学などに提案をもらい、市民の要望等も取り入れながら進めていきたい。

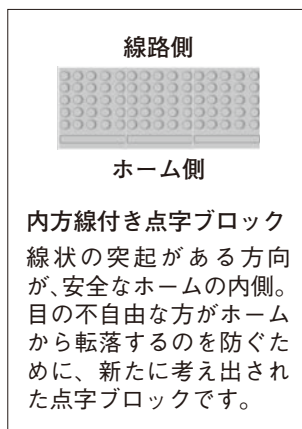
(バリアフリー推進事業費)

質 事業の概要は

答 東武鉄道が、東武栃木駅のホームに転落防止を目的として、内方線付き点字ブロックの設置を計画しており、当事業に対し市が補助金を支出する。

質 他の駅への対応は

答 今後、JR栃木駅にも内方線付き点字ブロックの設置を予定しており、鉄道事業者と協議しながら事業を進めていきたい。



(藤岡駅前広場整備事業費)

質 購入予定面積は

答 都市計画決定されている面積が2000㎡であり、今回計上している購入費については500㎡程度を予定している。

質 事業期間は

答 平成28年度に国の事業認可をいただき、平成32年度までを予定している。

討論

本会議の表決前に、次の議員が反対または賛成の意見を述べ、他の議員の賛同を求めました。

無＝無会派 誠＝誠心 風＝栃木新風会 大＝大樹 黎＝黎明

議案第1号

平成28年度一般会計予算

反対 白石幹男議員 **無**

①総合支所機能は縮小せず、むしろ強化すべきである。②リスクの高いマイナンバー制度を廃止すべきである。③少子化への対応として、より積極的な支援策を打ち出すべきである。④不要不急の大型事業は中止すべきである。このように本案は問題があるので反対する。

賛成 天谷浩明議員 **誠**

毎年増加してきた市の借金残高が減少するなど、財政健全化に配慮がされている。また、歳入では、国県補助金を積極的に活用して財源の確保に努め、歳出では、喫緊の課題である「防災・減災対策」や「定住促進」に重点化を図ったことを評価する。

反対 針谷育造議員 **風**

マイナンバーカードの交付に関しては、危険性や不安が解消されておらず、多くの問題が出ている。

また、重要な文化財である小野寺北小学校旧校舎に関しては、解体せずに活用を図るべきと考え、

本案に反対する。

賛成 広瀬昌子議員 **大**

特に、斎場再整備について、岩舟地域の南部清掃工場跡地を選定したことは妥当な判断と考えている。16万市民全体の利益を考えると、きであり賛成する。

議案第23号

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定

反対 白石幹男議員 **無**

新制度では、農業委員の過半数は認定農業者で、その認定農業者には株式会社でもなれることから、大手企業が農業委員会に参入することも可能となる。しかし、農地の集積・利用調整を進める上で、所有者・利用者相互の信頼関係が不可欠なので、農業者の公選委員が多数を占める農業委員会こそがふさわしいと考え、反対する。

賛成 針谷正夫議員 **黎**

公職選挙法に基づく、形式的な選挙制度の下で行われていた選任方法を改め、市長が議会の同意を

得た上で選任することになるので、これまで以上に、議会の関与が強まったと考えられる。

また、その定数は、市の財政事情等を勘案しつつ、効率的、効果的に業務が推進できるよう、十分な協議を行い提案されたものと判断する。

反対 大武真一議員 **無**

①自主性独立性の観点から、自由な選挙で農業委員を選出することが必要である。②地区推薦の基準が不明確で、候補者が公平公正な代表者たるか判断が難しい。③女性農業委員・青年農業委員の選出枠がない。以上の3点から本議案に反対する。

議案第59号

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案第60号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

反対 白石幹男議員 **無**

特例を設けて保育士配置の最低基準を緩和することは、保育の質の低下につながることが明らかであり、認めることはできない。

賛成 針谷正夫議員 **黎**

要件を一部柔軟化して保育士とみなすのは、幼稚園教諭や小学校教諭

などに限定し、数にも制限を設けている。また、保育士とともに、協力して保育に当たることとしている。保育の質が低下することがないよう、配慮がなされていると考え賛成する。

その他、討論のあったもの

議案第2号

反対 白石幹男議員 **無**

賛成 天谷浩明議員 **誠**

議案第3号

反対 白石幹男議員 **無**

賛成 天谷浩明議員 **誠**

反対 大武真一議員 **無**

議案第10号

反対 白石幹男議員 **無**

賛成 針谷育造議員 **風**

議案第26号

反対 白石幹男議員 **無**

賛成 針谷正夫議員 **黎**

反対 大武真一議員 **無**

議案第27号

反対 白石幹男議員 **無**

賛成 針谷正夫議員 **黎**

反対 大武真一議員 **無**

議案第28号

反対 大武真一議員 **無**

賛成 針谷正夫議員 **黎**

議案第45号

反対 白石幹男議員 **無**

賛成 針谷正夫議員 **黎**

議案等の審議結果は以下のとおりです。

全会一致で可決した議案

議案	4～9号	平成28年度各種特別会計予算、事業会計予算
	11～19号	各種特別会計補正予算、事業会計補正予算
	20号	市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定
	21号	地域支え合い活動推進条例の制定
	22号	いじめ防止対策推進条例の制定
	24号	特別会計条例の一部改正
	25号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
	29号	聖地公園管理基金条例の一部改正
	30号	指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
	31号	高齢者デイサービスセンター条例の一部改正
	32号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
	33号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正
	34号	勤労青少年ホーム条例の一部改正
	35号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

議案	36号	手数料条例の一部改正
	37号	建築審査会条例の一部改正
	38号	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
	39号	藤岡遊水池会館条例の一部改正
	40号	任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部改正
	41号	集会所条例の一部改正
	42号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
	43号	火災予防条例の一部改正
	44号	固定資産評価審査委員会条例等の一部改正
	46号	都賀町老人在宅介護支援センター設置及び管理運営に関する条例の廃止
	47、48号	市道路線の廃止、認定
	49号	財産の無償貸付け
	50号	指定管理者の指定（栃木地区急患センター）
	51号	教育委員会委員任命の同意
	52～55号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意
	56～58号	人権擁護委員の候補者推薦の意見
	61号	一般会計補正予算（第7号）
議員案	1号	議会基本条例の一部改正
意見書案	1号	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

賛否が分かれた議案等

○=賛成

●=反対

議案番号	議案名	採決結果	大谷好一（誠心）	茂呂健市（栃木新風会）	青木一男（大樹）	針谷育造（栃木新風会）	坂東一敏（誠心）	広瀬昌子（大樹）	小久保かおる（公明党議員会）	古沢ちい子（公明党議員会）	松本喜一（無会派）	渡辺照明（誠心）	白石幹男（無会派）	関口孫一郎（無会派）	氏家晃（新生クラブ）	平池紘士（黎明）	針谷正夫（黎明）	大出三夫（黎明）	大阿久岩人（新生クラブ）	大川秀子（黎明）	長芳孝（黎明）	千葉正弘（栃木創志会）	入野登志子（無会派）	天谷浩明（誠心）	広瀬義明（大樹）	福富善明（大樹）	大武真一（無会派）	海老原恵子（大樹）	永田武志（黎明）	岡賢治（大樹）	小堀良江（新生クラブ）	梅澤米満（栃木新風会）	中島克訓（新生クラブ）	高岩義祐（栃木新風会）	福田裕司（栃木創志会）	
1号	平成28年度一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	議長のため採決には加わらない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2号	平成28年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3号	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10号	一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23号	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27号	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28号	職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59号	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

▶意見書を国に提出

(意見書の全文はホームページに掲載しています)

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書<抜粋> (3月24日)

立ち並ぶ数多くの電柱や電線は・・・(略)・・・近年増加している異常気象等の自然災害による電柱の倒壊、さらには倒壊による避難・救援・救助等への影響、痛ましい通学児童の交通事故の発生、車いすやベビーカーが通行する際の危険性などから、無電柱化に対する地域の要望は極めて強いものとなっている。

このようなことから、無電柱化の推進に関し、基本理念や責務、推進計画の策定等を定めることにより、施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、公共の福祉の確保や生活環境の向上、地域経済の健全な発展に貢献する無電柱化の推進に関する法律の早期制定を強く要望する。

▶先進地を視察

(各委員会の視察報告書はホームページに掲載しています)

▶議会運営委員会

(2月4、5日)

京都府亀岡市「議会基本条例の運用」について
滋賀県大津市「議会のICT化」について

いずれも「市民に開かれ、信頼される議会」を目指し精力的な議会活動に取り組んでいました。

本市議会にも十分反映してまいります。



▶広報紙発行特別委員会

(4月4、5日)

山形県川西町「議会だよりの編集について」
山形県尾花沢市「同上」

読み手側の目線を大切にし、全委員が熱意をもって編集にあたっていました。紙面を充実させるための取り組みなど、大変参考になりました。



▶議員研究会

▶認知症サポーター養成講座を開催

(2月15日)

NPO法人「風の詩」副理事長で社会福祉士事務所「風のささやき」代表の永島徹氏を講師に迎えて、認知症サポーター養成講座を開催しました。

栃木市内では、3月24日までに10,559人が養成講座を受講し、認知症サポーターとなっています。



▶産業教育常任委員会の懇談会

▶市内事業者と意見交換 (2月1日、8日)

2月1日に藤岡町商工会・岩舟町商工会の皆さまと、2月8日に都賀町商工会・西方商工会の皆さまと懇談会を行いました。以前に実施した栃木市商店会連合会、大平町商工会の皆さまとの懇談会も含め計4回実施する中で、実際に商業に携わる方々から生の声を聴くことができました。



表紙の写真

希望を胸に

栃木第四小学校に入学した新1年生の入学式が始まる前の教室の様子です。一人ずつ自己紹介をして、お辞儀の練習をしてから体育館に向かいました。希望と不安でいっぱいの新一年生、先生の話をよく聞いて、お友達をたくさん作って、勉強に、運動にがんばってください。



ぜひ傍聴にお越しください

6月定例会の予定は・・・

開	会	6月10日(金)
一 般 質 問		6月14日(火)～17日(金)
常 任 委 員 会		20日(月)～23日(木)
閉	会	29日(水)

上記日程は予定であり、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

詳しい日程については、決定次第、ホームページ等でお知らせするほか、6月9日（木）に新聞折り込みを予定しています。

3月定例会の傍聴者は・・・144人でした。

議会だよりの感想をお寄せください

表紙の写真はどうでしたか？

関心を持った記事はありましたか？

見やすいレイアウトでしたか？

こんな記事があったらいいなと思うものはありますか？

当委員会では、みなさまの声を参考に、よりわかりやすく、より身近な議会だよりになることを目指しています。

どんなことでも大歓迎です。

下記の連絡先まで、感想をお寄せください。

ご意見、お問い合わせは、議会事務局まで

TEL 21-2505

FAX 21-2688

Mail gikai02@city.tochigi.lg.jp

広報紙発行特別委員会

28年度予算が可決されました。市政の発展と市民福祉向上のためにこれを生かさなくてはなりません。改めて議会の責任の重さを痛感いたします。

その議会活動を伝える「市議会だより」の表紙を今回から全面写真化しました。これまでよりもインパクトがあると思います。今後多くの方のみなさまに読んでいただける広報紙づくりに努めてまいります。

(中島克訓) 記

委員長 針谷正夫
副委員長 青木一男
委員 針谷造

針谷正夫
青木一男
針谷育造
小久保かおる
大武真一
坂東一敏
千葉正弘
中島克訓

議会の主なうごき

1月

14日 議会改革検討委員会
議会政策研究会幹事会

15日 代表者会議
議会報告会運営委員会

27日 第14回議員研究会
議員研修会
議会広報紙発行特別委員会

2月

1日 産業教育常任委員研究会
4日・5日 議会運営委員会視察
(京都府亀岡市・滋賀県大津市)
議会広報紙発行特別委員会視察
(山形県川西町・尾花沢市)
8日 各会派代表者会議
産業教育常任委員研究会
15日 議員全員協議会
第15回議員研究会
認知症サポーター養成講座
18日 議会改革検討委員会
議会政策研究会幹事会
議会報告会運営委員会
19日 議会運営委員会
26日 本会議(初日)
第16回議員研究会
議会広報紙発行特別委員会
29日 議会政策研究会幹事会
議会報告会運営委員会

3月

- 1日 各会派代表者会議
議会運営委員会
本会議（一般質問）5人
- 2日 本会議（一般質問）5人
議員全員協議会
- 3日 本会議（一般質問）5人
- 7日 総務常任委員会（予算説明）
民生常任委員会（予算説明）
- 8日 産業教育常任委員会（予算説明）
建設常任委員会（予算説明）
- 11日 総務常任委員会
- 14日 民生常任委員会
- 15日 産業教育常任委員会
- 16日 建設常任委員会
- 17日 第17回議員研究会
- 23日 議会政策研究会幹事会
- 24日 各会派代表者会議
議会運営委員会
本会議（最終日）
- 29日 議会改革検討委員会
第18回議員研究会